

會 報

令和8年6月20日 発行

第 85 号

関東地区整形外科勤務医会

発行者：会 長 大江 隆史

発行所：事務局 新井 嘉容

〒332-8558 埼玉県川口市西川口5-11-5

済生会川口総合病院 整形外科

関東地区整形外科勤務医会

電 話 0570-08-1551

FAX 048-256-5703

運動器以外はまとめて「内臓」だと思っている 整形外科医が知っておくべき「がん検診」とは

NTT東日本関東病院 院長

大江 隆史

日本整形外科学会は、「がんロコモ」の普及啓発に尽力している。2026年3月のインターネット調査ではロコモ認知者のうち、がんロコモ認知者の割合は約30%であった。年齢別では若年者ほど認知度が高いという不思議な結果であった。がんロコモの活動を推進するには、がんに関する知識も必要になってくる。がんを治療する医師に運動器の事を知ってもらうと同時にわれわれもがんについて知る必要がある。

さて、整形外科医の皆さんは、検診が早期発見に有効ながん検診を知っていて、それを受けておられるだろうか？日本の一般的な企業では中年以上になるとドックを受けられ、これらの健診はドックの内容に含まれていることが多い。従業員は自然とがん検診を受けているということを、私はNTT東日本の社員になって初めて知った。医師は職場が落ち着くまで長い期間を要することが多く、職場が落ち着いても小規模な施設であることも多いので、これらの機会を逃していることも多い。「内臓」を扱っている科の医師は特に自分の専門分野のがんに関する検診に関してはよく知っているが、われわれ整形外科医の知識は少なく、それに基づく行動にも消極的である。

(次頁へ続く)

目次

1. 運動器以外はまとめて「内臓」だと思っている整形外科医が知っておくべき「がん検診」とは・・・大江 隆史・・・1
2. ガイドライン改訂に伴う骨粗鬆症治療のポイントと整形外科の立場からの骨組織学研究・・・宮腰 尚久・・・2
3. 令和8年度診療報酬改定の要点 ―整形外科を中心に―・・・平泉 裕・・・4
4. 令和7年度関東地区整形外科勤務医会 幹事・常任幹事会議事録（令和7年12月20日）・・・8
5. 令和7年度関東地区整形外科勤務医会 常任幹事会議事録（令和8年3月16日）・・・11
6. 事務局から・・・14
7. 第82回 日整会認定教育研修会のお知らせ・・・15
8. 入会申し込み書・・・16

以下の検診・検査はがんの早期発見に有効なことが分かっている。1. 胃がん、2. 大腸がん、3. 肺がん、4. 乳がん、5. 子宮頸がん、である。その他は前立腺がんに関するPSA検査、膵臓がんのリスクが高い人に対するMRCP検査である。1. ピロリ菌感染の有無は調べてあるだろうか？ピロリ菌陽性のまま除菌をしないままにしていけないだろうか？除菌が保険適応になったのは2013年なので、放置したままになっている人も多いと思う。ピロリ菌感染者のほとんどが胃がんになり、除菌でそのリスクは3分の1になるにも関わらずである。2. みぎ側の結腸では肉眼的血便の割合は低く、ひだり側の結腸や直腸でも約半数であると言われている。便潜血検査が必要である。3. 低線量CTのがん発見率は胸部レントゲンの約10倍である。5. ヒトパピローマウイルスは子宮頸部のスメア検査のPCRでその遺伝子型が分かり、遺伝子型により発がんのリスクが分かる。定期的検診が早期発見に有効である。膵臓にはIPMN（膵管内乳頭粘液腫瘍）という疾患があり、がん化したり、がんを合併することがあるが、MRCPでの検査を継続すれば、早期にがんを発見できる。

食欲が落ちたり、息切れがしたり、排尿が困難になった時にはもはや早期ではない。前立腺がんを罹患された2人の先輩のあまりにも違った運命を知っている身として、有効な検診を受けられることをお勧めしたい。

ガイドライン改訂に伴う骨粗鬆症治療のポイントと 整形外科の立場からの骨組織学研究

秋田大学整形外科学講座 教授

宮腰 尚久

「骨粗鬆症の予防と治療のガイドライン」が10年ぶりに改訂され、2025年版として発表された。この改訂版では、薬物療法の評価において、新たにゾレドロン酸、ロモソズマブ、アバロパラチドが加えられた。薬物療法の骨密度に対する効果は、腰椎と大腿骨（全大腿骨近位部または大腿骨頸部）の両方に有効であれば「行うことを推奨する」、どちらか一方に有効であれば「行うことを提案する」、いずれも有効性が確認できない場合は「行わないことを提案する」として評価され、骨折抑制効果に対しては、椎体、大腿骨近位部、非椎体の骨折すべてに有効であれば「行うことを推奨する」、すべてではないが、少なくとも一つでも有効であれば「行うことを提案する」、いずれも有効性が確認できない場合は「行わないことを提案する」として評価されている。今回のガイドラインにおいて、骨折抑制効果において「行うことを推奨する」と評価された薬剤は、アレンドロン酸、リセドロン酸、ゾレドロン酸、デノスマブ、ロモソズマブの5剤である。

骨密度測定、生化学的マーカー、定量的CTなどの非侵襲的方法の開発と進歩にもかかわらず、骨形態計測をはじめとする組織学的な評価法は、細胞レベルでの骨代謝を詳細に検討するための唯一の方法であり続けている。骨の疾患や外傷を扱う整形外科にとって、骨代謝研究への組織学的なアプローチは必須である。整形外科の観点からは、運動療法の骨に対する効果や、オステオサルコペニアの病態解明を目的とした骨と筋のクロストークに関する組織学的研究も必要である。さらに、骨折手術の成績を向上させるための対策の検討や、手術に用いる金属合金やセラミック、複合ポリマー、生体吸収性材料などの骨組織への影響の検討も必要である。

動物を用いる実験骨粗鬆症モデルによる組織学的な研究結果は、臨床でも仮説どおりの骨粗鬆症治療を行い得るか否かの理論的根拠となる。われわれは、主にラットを用いて、卵巣摘除、グルココルチコイド投与、糖尿病誘発、ビタミンC欠乏、アジュバント関節炎、坐骨神経切除による不動化、尾部

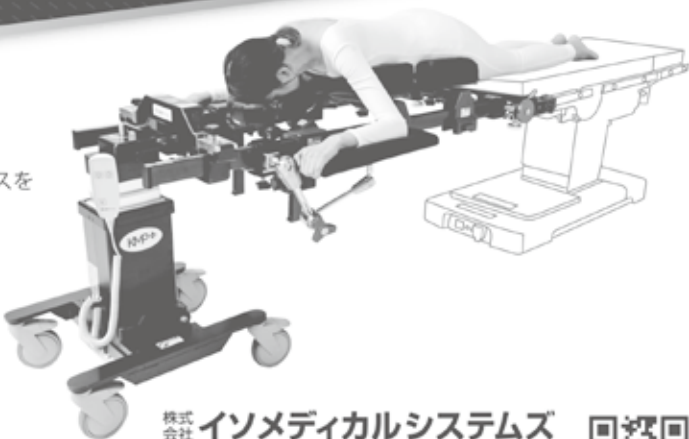
懸垂による非加重などの骨粗鬆症モデルを作製し、それぞれのモデルにおける骨量減少のパターンを検討してきた。さらに、これらのモデルに対するテリパラチド、各種のビスホスホネート、活性型ビタミンD3、ビタミンK2、選択的エストロゲン受容体モジュレーターなどの効果を組織学的に検証してきた。

整形外科医が臨床で遭遇するさまざまな骨疾患において、画像所見だけでは判定できない病態の解明にも組織学的な評価は有用である。骨形態計測の有用性を実感し論文化した自験例として、1)骨形態計測により骨軟化症と診断した非定型大腿骨骨折例、2)エチドロネートの効果を組織学的に検証した嚥下障害を伴う頸椎前縦靱帯骨化症の剖検例、3)リセドロネート治療後の椎体の骨形態計測を行った小児グルココルチコイド誘発性骨粗鬆症の剖検例などがある。



カーボンフレーム

一般の手術台に接続が出来、
Cアーム等のワーキングスペースを
最大限に確保





▲インKMP+製品詳細サイト



株式会社 **イソメディカルシステムズ**
本 社 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 3-2-8
問合せ先 〒277-0863 千葉県柏市豊四季 495-14
TEL 04(7141)4021 FAX 04(7141)4022
URL: <https://www.isomed.co.jp/>



令和8年度診療報酬改定の要点 ―整形外科を中心に―

成城リハビリテーション病院

平泉 裕

I. 今回改定の重点課題

- 1) 物価、賃金、人手不足等への対応
- 2) 中長期的(2040年頃)な人口構造や地域医療ニーズの質・量変化を見据えた医療提供体制を構築

II. 診療報酬 +3.09%の内訳

1. +1.70%: 賃上げ分(R8年度+1.23%、R9年度+2.18%)
2. +0.76%: 物価対応分(R8年度+0.55%、R9年度+0.97%)
病院+0.49%、医科診療所+0.10%、歯科・薬局+0.03% 残りの+0.14%分は高度医療機能を担う病院に特例で対応
3. +0.09%: 入院時食費基準額(+40円/食)、光熱費基準額(+60円/日)
4. +0.44%: 経営環境の悪化を踏まえたR7補正予算による緊急対応分 病院+0.40%、医科診療所+0.02%、歯科・薬局+0.02%
5. ▲0.15%: 後発医薬品に係る評価、在宅医療・訪問看護関係の評価、長期処方・リフィル処方の取組強化等による効率化
6. +0.25%: 1~5以外の分、つまり賃上げ分と物価対応分に多くの予算が投入され、医療行為への配分は従来と変わらない。

III. 個別改定項目

A 基本診療料

A000 初診料にかかると加算

特定機能病院等紹介患者受入加算 60点

- ・診療所又は許可病床数が200床未満である病院において、以下の病院の紹介を受けて初診を行った場合、所定点数に加算
- ・特定機能病院
- ・地域医療支援病院(一般病床数が200床未満以外)
- ・紹介受診重点医療機関(一般病床数が200床未満以外)
- ・許可病床の数が400床以上の病院(一般病床数が200床未満以外)

B011 連携強化診療情報提供料 150点: 要件の拡大(改定後)

・算定対象医療機関を **200床未満の病院及び診療所等に拡大**し、紹介元及び紹介先医療機関のいずれも算定可能とする。

・他の医療機関からの求めに応じた場合のほか、病院の専門医師と地域のかかりつけ医師が連携をしながら共同で継続的に治療管理を行うにあたり必要な情報提供を行った場合においても算定可能とする。

・患者1人につき**3月に1回**へと見直す。

D217 骨塩定量検査

・検査間隔の変更 **4月に1回→原則1年に1回**

・以下の場合には4月に1回算定が可能

骨折危険因子

・宿主要因: 女性、高齢、低骨密度、低体重、低BMI、既存骨折、骨折家族歴、転倒、薬剤(グルココルチコイド、トランキライザー、抗てんかん薬、抗うつ薬、降圧薬など)、疾患(2型糖尿病、COPD、CKD、脳卒中後、パーキンソン病、アルコール依存症、全身衰弱など)、TBS、HAL

・環境因子: 生活習慣(喫煙、飲酒、運動不足、低活動性、栄養素の摂取量不足(カルシウム、ビタミンD、K、たんぱく質)、生活環境(転倒しやすい住居環境・季節・履物など)

D239 筋電図検査

1筋電図(1肢につき(針電極は1筋につき)):

320点→384点

D295 関節鏡検査(片側): 760点→912点

* 同一患者に同一月2回目以降は90/100で算定

* 他機関で撮影の内視鏡写真で診断の場合1回につき70点算定可

D403 腰椎穿刺、胸椎穿刺、頸椎穿刺(圧測定を含む):

260点→312点

F 処方箋様式の変更

1 長期処方やリフィル処方箋による処方に対応可能であることの院内掲示や、求めに応じた対応が、以下の管理料等にも要件となった

・特定疾患療養管理料

- ・二次性骨折予防継続管理料 等
- 2 長期収載品の選定療養の変更

患者の希望により長期収載先発品を使用する場合、患者負担分を先発品と後発医薬品の価格差 1/4 から 1/2 に引き上げる
- H002 運動器リハビリテーション料
 - ・早期リハビリテーション加算:入院～3 日＝60 点／4 日～14 日＝25 点
 - ・離床を伴わずに 20 分以上個別療法:所定点数の 100 分の 90 で算定、1 日 2 単位まで算定に制限
 - ・休日リハビリテーション加算:入院中の患者又は入院中以外の大腿骨頸部骨折患者に、発症、手術又は急性増悪から 30 日までを限度として、休日 1 単位につき 25 点を加算
- H003-2 リハビリテーション総合計画評価料
 - 1 リハビリテーション総合計画評価料1
 - イ 初回の場合:300 点
 - ロ 2回目以降の場合:240 点
 - 2 リハビリテーション総合計画評価料2
 - イ 初回の場合:240 点
 - ロ 2回目以降の場合:196 点
 - ・医師又は医師の指示を受けた看護師、理学療法士、作業療法士若しくは言語聴覚士から患者に説明の上交付

ただし、A308 回復期リハビリテーション病棟入院料又は A319 特定機能病院リハビリテーション病棟入院料を算定している場合は、医師により説明の上交付
 - ・リハビリテーション総合実施計画書の写しに説明日及び説明者の記載がない場合は、診療録に記載
 - ・患者等の署名は不要
- H003-3 リハビリテーション計画提供料:削除
- H003-4 目標設定等支援・管理料
 - 1 初回の場合:削除
 - 2 2回目以降の場合:削除
- J 処置
 - J001 熱傷処置 5 6,000 cm²以上:1875 点→2250 点
 - J001-7 爪甲除去(麻酔を要しないもの):70 点→80 点
 - J007 頸椎、胸椎又は腰椎穿刺:317 点→380 点

(注: 6 歳未満の乳幼児は乳幼児加算 110 点)
 - J110 骨髄穿刺 1 胸骨:310 点→330 点

(注: 6 歳未満の乳幼児は乳幼児加算 110 点)
 - J116 関節穿刺(片側): 120 点→144 点

(注 6 歳未満の乳幼児は乳幼児加算 110 点)

- K 手術

(新設)

 - K053-3 骨悪性腫瘍、類骨骨腫及び四肢軟部腫瘍凝固・焼灼術(冷凍凝固によるもの)
 - 1 2センチメートル以内のもの:51200 点
 - 2 2センチメートルを超えるもの:66200 点
 - K054-3 脛骨遠位骨切り術:28000 点
 - K059-3 軟骨修復材移植術:14030 点
 - K059-4 軟骨修復材移植術(関節鏡下):22340 点
 - K082-1 ロ 人工肩関節置換術 腱移行を伴うもの:46690 点
 - K082-8 人工膝関節置換術(手術支援装置を用いるもの):42190 点
 - K142-9 腰椎後方椎体固定術(内視鏡下):53500 点

(注:椎間加算あり、2 椎間まで)
 - K481-2 肋骨骨折観血的手術 4 本以上:20330 点

(改正)
 - K001 皮膚切開術 3 長径 20 センチメートル以上:2270 点→2724 点
 - K069-2 関節鏡下三角線維軟骨切除・縫合術

→K074-2 縫合術と K074-3 切除術に分割
 - K082-7 人工股関節置換術(手術支援装置を用いるもの)→適応拡大(大腿骨頭壊死症、関節リウマチ)
- ・複数手術における費用の特例

複数手術に係る費用の特例(平成 30 年厚生労働省告示第 72 号)として、2種類以上の手術を同時に行った場合には、【主たる手術】の所定点数に、[従たる手術]の所定点数の 100 分の 50 に相当する点数を加えた点数を、同一手術野又は同一病巣に係る手術の所定点数とすることが可能となりました。
- 【主たる手術】
 - K031 四肢・躯幹軟部悪性腫瘍手術**

[従たる手術]

 - K082 人工関節置換術1肩関節
 - K082 人工関節置換術2股関節
 - K082 人工関節置換術3膝関節
- 【主たる手術】
 - K034 腱切離・切除術(手指、中手骨又は手関節に限る。)**
 - K046 骨折観血的手術**
 - K035 腱剥離術 (同)**
 - K035-2 腱滑膜切除術(同)**
 - K037 腱縫合術 (同)**
 - K038 腱延長術 (同)**

K039 腱移植術(人工腱形成術を含む)(同)

K040 腱移行術 (同)

[従たる手術]

K046 骨折観血の手術(前腕骨、手舟状骨、手根骨、
中手骨、手指骨)

K182 神経縫合術(手指、中手部又は手関節に限る)

K182-3 神経再生誘導術(手指、中手部又は手関節に限る)

K610 動脈形成術、吻合術(手指、中手部又は手関節に限る)

K623 静脈形成術、吻合術(手指、中手部又は手関節に限る)

【主たる手術】

**K046 骨折観血の手術(前腕骨、手舟状骨、手根骨、
中手骨、手指骨)**

[従たる手術]

K182 神経縫合術(手指、中手部又は手関節に限る)

K182-3 神経再生誘導術(手指、中手部又は手関節に限る)

K610 動脈形成術、吻合術(手指、中手部又は手関節に限る)

K623 静脈形成術、吻合術(手指、中手部又は手関節に限る)

【主たる手術】

K053 骨悪性腫瘍手術

[従たる手術]

K0081 人工骨頭挿入術

K082 人工関節置換術

【主たる手術】

K054 骨切り術 5 下腿骨骨切り術

[従たる手術]

K068-2 半月板切除術(関節鏡下)

K069-3 半月板縫合術(関節鏡下)

K069-4 半月板制動術(関節鏡下)

【主たる手術】

K054-2 脛骨近位骨切り術

[従たる手術]

K055-4 大腿骨遠位骨切り術

K068-2 半月板切除術(関節鏡下)

K069-3 半月板縫合術(関節鏡下)

K069-4 半月板制動術(関節鏡下)

【主たる手術】

K079-2 靱帯断裂形成手術(関節鏡下) 1 十字靱帯

断裂形成手術

[従たる手術]

K068-2 半月板切除術(関節鏡下)

【主たる手術】

**K080-5 肩関節唇形成術(関節鏡下) 2 腱板断裂を伴
わないもの**

[従たる手術]

K077-2 肩甲骨烏口突起移動術

【主たる手術】

K082 人工関節置換術 2 人工股関節置換術

[従たる手術]

K054 骨切り術3大腿骨骨切り術

【主たる手術】

K107 指移植手術(手指に限る)

[従たる手術]

K182 神経縫合術(手指に限る)

K182-3 神経再生誘導術(手指、中手部又は手関節)

【主たる手術】

K134 椎間板摘出術

[従たる手術]

K142 脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術

【主たる手術】

K134-2 椎間板摘出(切除)術(内視鏡下)

[従たる手術]

K131-2 椎弓切除術(内視鏡下)(椎間板摘出(切除)
術(内視鏡下)を 実施した椎間及び当該椎間
に隣接する椎弓に係るものを除く)

【主たる手術】

K134-3 頸椎人工椎間板置換術

[従たる手術]

K142 脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術

1頸椎前方椎体固定術(頸椎人工椎間板置換術を
実施した椎間に隣接する椎間に係るものに限り)

【主たる手術】

K142-5 椎弓形成術(内視鏡下)

[従たる手術]

K131-2 椎弓切除術(内視鏡下)(椎弓形成術(内視鏡
下)を実施した椎弓に係るものを除く。)

K134-2 椎間板摘出(切除)術(内視鏡下)(椎弓形成術
(内視鏡下)を実施した椎弓に隣接する椎間に係
るものを除く。)

【主たる手術】

K144 体外式脊椎固定術

〔従たる手術〕

- K116 脊椎、骨盤骨揺爬術
- K118 脊椎脱臼観血の手術
- K135 脊椎、骨盤腫瘍切除術
- K136 脊椎、骨盤悪性腫瘍手術
- K142 脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術

【主たる手術】

K182 神経縫合術(手指、中手部又は手関節に限る)

〔従たる手術〕

- K610 動脈形成術、吻合術(手指、中手部又は手関節に限る。)
- K623 静脈形成術、吻合術(手指、中手部又は手関節に限る。)

【主たる手術】

K182-3 神経再生誘導術

〔従たる手術〕

- K610 動脈形成術、吻合術(手指、中手部又は手関節に限る)

・その他

- ・二次性骨折予防継続管理料の適応拡大:有床診療所も算定可

- ・医療機関等における事務等の簡素化・効率化(廃止)

院内で使用したり、院内で直接患者に手渡されるものは、**署名又は記名・押印を廃止(記名のみ)**

- ・入院計画書
- ・リハビリテーション総合実施計画書
- ・生活習慣病療養計画書 等

(一部簡素化)

他機関に交付される書類であっても、2回目以降や直接手渡すなど作成した医療機関から送付されたものであることが明らかな場合には、署名又は記名・押印を省略可

- ・診療情報提供書
- ・保険医療機関間の病理診断に係る情報提供様式

等



NAKASHIMA
HEALTHFORCE



Saccura
Spinal System

より幅広い症例で使用できるように
新たにフックとオフセットフックが追加されました。
これからも日本人に適した製品を提供していきます。

製造販売元
ナカシマヘルスフォース 株式会社
〒709-0625 岡山県東区上道北方688-1 TEL. 086-279-6278 FAX. 086-279-9510

販売名 Saccuraスパイナルシステム(滅菌品)
医療機器製造販売承認番号 301006ZX00100000

令和7年度関東地区整形外科

勤務医会 幹事・常任幹事会

議事録

日時：2025年12月20日（土曜日） 14:30～15:30

場所：旭化成ファーマ（株） 医薬東京支店 会議室
（新宿アイランドウイング 11 階）

出席者：

阿江 啓介、浅野 聡、新井 嘉容、池上 隆司、
伊室 貴、伊藤 淳二、江畑 功、大江 隆史、
桂川 陽三、加藤 剛、鎌田 孝一、鎌田 修博、
亀山 真、桑沢 綾乃、児玉 隆夫、坂根 正孝、
篠崎 哲也、進藤 重雄、田尻 康人、辰巳 徹志、
戸野塚 久紘、長瀬 寅、新関 祐美、萩原 敬一、
原 慶宏、原田 義忠、東川 晶郎、平泉 裕、
福田 健太郎、眞塩 清、松原 正明、水野 広一、
村松 俊樹、山縣 正庸、吉田 英彰、若林 良明
(36名：五十音順、敬称略)

【審議事項】

- 1 2026年12月の幹事・常任幹事会、
第83回教育研修会の日程、場所に関して
・日程候補日：2026年12月19日（土）14:30～18:00
・会場：旭化成ファーマ（株） 医薬東京支店会議室
→拍手をもって承認
- 2 新幹事・常任幹事の推薦
・なし
- 3 その他
・なし

【報告事項】

- 1 理事会報告
大江先生より報告
・ACジャパンの2027年支援団体キャンペーン応募の
継続、骨粗鬆症予防に関して
・令和7年度Q&A委員会（第4回 9/30）、第9版は
13,000円で販売
・令和7年度から開始される「専門医資格更新時のe
ラーニング・eテスト」について、システム会社よ
り説明を受けた

- ・再生医療学会から変形性膝関節症臨床試験参加者募
集のチラシが配布されたことについての申し入れ
- ・日整会100年プロジェクト
・記者発表会を2月開催
・11月28 or 29日、全国の47都道府県ほぼ同時
に一般向け講演会開催
- ・リウマチ外科医育成助成制度：日整会費用負担100
万円、10名程度、助成金の上限は一名につき20万
円

2 ホームページ・会報

伊室先生より報告

- ・会報84号を発行・送付
- ・HPを一部刷新

3 ロコモ チャレンジ！推進協議会の活動報告

大江先生より報告

第178回協議会

- ・勤労者ロコモワーキング開催報告（事務局和山）
- ・サントリーウエルネス富山大会（大江先生）：ノル
ディックウォーク協会とサントリーウエルネスが共
催（9月28日） イベントブースにて、ロコモ度テ
ストや大江先生からの医療相談を実施
- ・ラブテリ主催「京都保健室2025」（事務局発生
川）：11月6日に出席予定。京都駅前広場にて、
ロコモ度テストを実施。森口先生のトークショーも
開催し、Miss SAKEによる立ち上がりテストデモン
ストレーションも検討中。
- ・タイでの取組について（山田先生）：PMAC（Prince
Mahidol Award Conference）2026（2026/1/26～
31）にて、ロコモの取り組みを発表予定。今年の会
議テーマは、（高齢化含む）人口変化で社会にどう
いう影響が生じていて各国それに対してどういった
取り組みがなされているのか。
- ・新ロコトレ開発の進捗について（篠田先生）：ロコ
モ体操および、その評価指標の作成の進捗について
報告。体操については、従来のロコトレメニューの
負荷を上げたものを選定する方針。
- ・厚生労働省は、健保組合の取り組み状況に応じた後
期高齢者支援金の加算・減算制度を導入。2024年
度から「ロコモ対策」が評価項目に追加（配点
5）。

第179回協議会

- ・国際化WGの方向性（事務局野口・森口先生）
- ・大塚製薬との取り組み進捗（石橋先生）

大塚製薬が佐賀県武雄市と進める「スポーツ庁 運動・スポーツ習慣化促進事業」について報告。-大塚製薬が佐賀県武雄市とロコモ対策・生活習慣病改善を目的とした動画を制作し、ドコモ等と連携して発信していく。年内（12月15日頃まで）に1本目を制作予定。

- ・ロコモの海外展開を後押しするためのPR施策を提案。

4 外保連関係

亀山先生より報告

- ・令和8年度診療報酬改定関連について（勤務医会からの要望）
 - ・「通則14の追加：人工骨頭挿入術（肩）と骨折観血的手術（上腕）の併施」について
- ・2025年12月3日中医協総会で1次審査通過学会等から医療技術評価分科会に提案書の提出があった技術807件（前回は858件）の内、医療技術評価分科会における評価の対象となるものは713件（前回は760件）
- ・令和8年度診療報酬の全体改定率は+2.29%
 本体：+3.09%（賃上げ分+物価高騰対応分は2.99%）
 薬価：-0.8%
 令和6年度は-0.08%（本体：+0.88%→コメディカルの処遇改善分+0.61%、薬価-0.96%）
 診療報酬改定の最終決定は、1月中旬の見込み（前回は、2022年1月18日中医協総会）
- ・整形外科領域のKコードの再編について
 厚労省からの改定案（最終）の提示（例）

- ・令和10年度改定のスケジュール（前半）

- ・3月 不合理・矛盾点の意見募集
- ・4月下旬 新設・改正・材料要望項目アンケートの依頼（簡単な内容記載）
- ・5月 第1回実務委員会（不合理・矛盾点より緊急要望の検討）
- ・6月 緊急要望提出
- ・9月30日 要望項目アンケートの締切

平泉先生より報告

- ・急性期の一般病院の約8割赤字
- ・診療報酬改定で人件費
- ・Kコードに改正を部分的に始めていく
- ・特定保健医療材料の納入価が償還額より高い（赤字）

5 内保連関係

山縣先生より報告

11月20日の審査会

- ・ドコモフレイル指導管理料と骨転移指導管理料が一次1次審査通過
- ・診療材料につき肩関節学会では詳細な報告がされているため点数に反映

6 本日開催 幹事・常任幹事会、教育研修会

事務局/村松先生より報告

- ・日時：2025年12月20日（土）
- ・会場：旭化成ファーマ（株）医薬東京支店 会議室
- 14:30～15:30 幹事・常任
- 15:40～15:50 製品情報提供
- 16:00～18:00 第81回教育研修会
- (18:00～19:30 情報交換会)

【改定案】2025.11.18				
区分	診療報酬コード	診療報酬名称	診療報酬名称（変更点赤字）	点数
	K046	骨折観血的手術		
	K046	1 肩甲骨骨折観血的手術		21,630
	K046	2 上腕骨骨折観血的手術		21,630
	K046	3 大腸骨骨折観血的手術		21,630
	K046	4 前腕骨骨折観血的手術		18,370
	K046	5 下腿骨骨折観血的手術		18,370
	K046	6 手舟状骨骨折観血的手術		18,370
	K046	7 鎖骨骨折観血的手術		11,370
	K046	8 膝蓋骨骨折観血的手術		11,370
	K046	9 手根骨（舟状骨を除く）骨折観血的手術		11,370
	K046	10 中手骨骨折観血的手術		11,370
	K046	11 手根骨骨折観血的手術		11,370
	K046	12 足指骨骨折観血的手術		11,370
	K046	13 中足骨骨折観血的手術		11,370
	K046	14 足趾骨骨折観血的手術		11,370
	K046	15 その他の骨折観血的手術		11,370
	K046-2	骨折観血的手術（インプラント埋入術に付するもの）		
	K046-2	1 肩甲骨骨折観血的手術（インプラント埋入術に付するもの）		23,420
	K046-2	2 上腕骨骨折観血的手術（インプラント埋入術に付するもの）		23,420

[演題 1]

演者：吉井 俊貴先生（東京科学大学 先端医 療開
発学講座 整形外科科学分野 教授）

演題名：「脊椎疾患の診断と治療のpitfall」

座長：新井 嘉容先生（済生会川口総合病院）

必須単位：[7] 脊椎・脊髄疾患、
[SS] 脊椎脊髄病医

[演題 2]

演者：宮越 尚久先生（秋田大学大学院 医学系研
究科医学専攻 機能展開医学系 整形外科科学講座
教授）

演題名：「ガイドライン改訂に伴う骨粗鬆症薬物治
療のポイントと整形外科の立場からの骨組織学研
究」

座長：伊藤 淳二先生（栃木県医師会塩原温泉病
院）

必須単位：[4] 代謝性骨疾患（骨粗鬆症含む）
[Re] 運動器リハビリテーション医

研修単位取得受付では2次元コードリーダーを使用

7 次回 常任幹事会

事務局より報告

- ・日時：2026年3月16日（月）19:00～20:00
- ・形式：WEB（Zoom）開催

8 次々回 幹事・常任幹事会、教育研修会、総会

事務局/村松先生頼報告

- ・日時：2026年6月20日（土）
- ・会場：A P東京八重洲通り
- 14:30～15:30 幹事・常任幹事会
- 15:30～15:50 総会
- 15:50～16:00 製品情報提供
- 16:00～18:00 第82回教育研修会
- (18:00～20:00 情報交換会)

[演題 1]

演者：工藤 理先生（昭和医科大学整形外科
教授）

演題名：「脊椎関係-首下がり病?-（仮）」

[演題 2]

演者：落合 信靖先生（千葉大学整形外科
准教授）

演題名：「体外衝撃波について（仮）」

9 次々々回 10月の常任幹事

- ・日時：2026年10月19日（月）19:00～20:00
- ・形式：WEB（Zoom）開催

10 新常任幹事ご挨拶

事務局より報告

2025年10月承認

- ・桑沢 綾乃先生（埼玉協同病院整形外科部長）
- ・加藤 剛先生（市立青梅総合医療センター整形外科
部長）
- ・池上 隆司先生（越谷市立病院整形外科部長）

11 その他

特になく、拍手にて終了

以上

[文責：事務局 新井嘉容]

令和7年度関東地区整形外科 勤務医会 常任幹事会 議事録

日時：2026年3月16日（月曜日）19:00～20:00

方法：WEB（Zoom）開催

出席者：

浅野 聡、新井 嘉容、池上 隆司、石橋 英明、
伊室 貴、伊藤 淳二、上杉 雅文、浦部 忠久、
江畑 功、大江 隆史、岡崎 真人、桂川 陽三、
加藤 剛、鎌田 孝一、鎌田 修博、亀山 真、
河村 直洋、児玉 隆夫、小宮 浩一郎、
坂根 正孝、進藤 重雄、田尻 康人、
戸野塚 久紘、新関 祐美、萩野 哲男、
萩原 敬一、林 淳慈、原 慶宏、東川 晶郎、
平泉 裕、福田 健太郎、三上 容司、水野 広一、
三原 久範、村松 俊樹、山縣 正庸、吉田 英彰、
若林 良明

(38名：五十音順、敬称略)

【報告事項】

1 理事会報告

大江先生より報告

- 骨粗鬆症委員会:2026年度実施予定の「骨粗鬆症アンケート」について、従来の郵送形式からWeb形式(Google フォーム)へ変更することについて
また、大腿骨近位部骨折全国調査・非定型大腿骨骨折症例全国調査のJOANR統合については、現行システム上、保存療法症例の登録が困難であるため、当該症例の登録は見送ることとした
- 特別名誉会員(仮称)の新設:「ノーベル賞、文化勲章又はこれらに準ずる名誉を受けたもの」を対象とする特別名誉会員(仮称)の新設を承諾
- 日整会表彰規則:功労賞候補者基準の改定
- 100年史事業:全会員に対し往復はがきで希望調査を行い、希望者に対してのみ送料も含め無償で冊子を送付
- 手術支援ロボット関連調査:手術支援ロボットを用いた整形外科手術の合併症実態に関するアンケート調査の実施計画を承諾
- リウマチ外科医育成助成制度:2025年度は12名を採択し、実費として最大20万円を補助
- 社会保険等委員会:自家培養軟骨「ジャック®」の変形性膝関節症への保険適応の拡大について報告
- Q&A 改訂作業:第一次クロスチェックが完了し専門医試験の過去問の約3割を刷新、来春の初版完成を目指して作業を進めている。
- 学術研究企画委員会:新規プロジェクト研究について、次年度公募より1会員につき応募は1課題に制限することとした。
 - スイッチ OTC 化医薬品の候補成分に関する評価検討委員会:セレコキシブ及びS-フルルピプロフェン貼

剤(ロコアテープ)のスイッチ OTC 化に対し、反対意見を表明

- 専門医試験制度:受験申請時期を現行の11月から研修修了後の12月へ変更し、それに伴い試験時期を従来の1月から2月へ変更することとした。
- 専門医申請要件:令和8(2026)年度研修開始の専攻医より、JOAN 登録症例のみを専門医申請の有効症例とする。
- 関連組織の設立:一般社団法人日本CST 監理・支援機構の設立について報告
- 日整会100年プロジェクト:実行会議において、市民公開講座事業およびポスター送付について報告

2 ホームページ・会報

伊室先生より報告

- 会報95号発行へ向けて準備中
- HPを一部改定

3 ロコモ チャレンジ！推進協議会の活動報告

大江先生より報告

- 着物を用いたロコモPR進捗について報告
- 協議会の著作物等の転載申請について:過去約450件の転載申請のうち、約20%が大学関係(教科書作成や医療関係学部からの問い合わせなど)からの申請であった。これを踏まえ「大学(教育機関)」についても申請なしでの許諾対象に加えるかについて議論を行った。
- 新コロトレ開発の進捗:40～50代を対象としたロコモ予防を目的に、従来より高負荷のトレーニングメニューおよび評価指標の開発状況について詳細な報告があり、意見交換を行った。
- ロコモコーディネーターに関する提案:日本臨床整形外科学会理事長・SLOC 副理事長の長谷川先生との対談において、SLOC が認定する「ロコモコディネーター」の取得を、製薬会社に在籍する薬剤師資格を持つMRに推奨していくという案が提示された。

4 外保連関係

亀山先生より報告

- 令和8年度診療報酬改定関連について(勤務医会からの要望)
「通則14の追加:人工骨頭挿入術(肩)と骨折観血的手術(上腕)の併施」について→非採択
- 医療技術評価分科会(2026/1/15開催)で、対応する優先度の高い技術に採択された案件は、158件(採択率は22.8%、令和6年度は22.9%)
- 整形外科領域の採択案件は以下の通りとなった。
 - 二次性骨折予防継続管理料2:算定施設案件の緩和
 - 人工股関節置換術(手術支援装置を用いるもの)の対象疾患の拡大
 - (骨折観血的整復固定術・肋骨(4本以上))→日本呼吸器外科学会(日本整形外傷学会)
 - 人工関節置換術・膝関節(ロボット支援)
 - 腰椎固定術(後方固定、椎体に達する)

(内視鏡下)

6 人工関節置換術・肩関節(腱移行術を伴う)

7 脛骨遠位骨切り術

新規要望で採択されたのは4-7の4件、改正要望は1-3の3件

なお前回改定で骨折観血的手術の一律の増点により、結果として関節内骨折観血的手術より高くなったという逆転現象があった。今回、**日本整形外傷学会より関節内骨折観血的手術の増点による逆転現象の解消を要望**していた。中医協の最終審査では、この要望は**今回の改定で対応しない**とされていたが、2/13 中医協総会の答申の際に示された診療報酬点数表によれば、**関節内骨折観血的手術の点数は骨折観血的手術より高い点数まで増点していた**(逆転現象は解消されていた)

・令和 10 年度改定のスケジュール(前半)

3月: 不合理・矛盾点の意見募集

4月: 第1回実務委員会(要望項目アンケートについての補足説明)

これまででは、新規5、改正8であったが、次年度は新規5、および改正を含めて7まで

6月: 不合理・矛盾点についてのメール審議、緊急要望提出

9月30日: 要望項目アンケートの締切

・外保連試案2026完成

・令和8年度改定の開始は6月1日から

平泉先生より報告

・整形外科領域Kコードの改編: 部位毎に細分化された。今回改定で保険点数は変えてないが、次回改定ではデータに基づいて点数が改正される可能性がある。

・関節内骨折観血的手術の算定: 関節外でピンニングのみを行う手術が本手術点数で算定されている。本来は関節内で整復操作を行うための手術点数であるが、JOANR データ解析において手術時間が2峰性分布となっている。本手術点数が骨折観血的手術よりも低く設定されている要因となっていることから、関節外で実施するピンニング手術は骨折観血的手術で算定していただきたい。

・二次性骨折予防継続管理料の適応拡大: 脊椎圧迫骨折を適応に追加するよう要望したが、不採用だった。

・二次性骨折予防継続管理料2の適用施設拡大: 管理料2を有床診療所でも算定可能となった。

・急性期病院の経営困難: 人件費増、医療材料費増の影響で、救急搬送受入れ数の多い医療機関では医療事業費が赤字になる傾向が続いている。

・外科医療特別加算: 外科医の待遇改善対策、消化器外科、心臓外科、小児外科、循環器内科の手術が対象

5 内保連関係石橋/山縣先生より報告

・日本整形外科学会より申請した管理料は全て棄却された

・骨密度の測定間隔を4→6ヶ月 用件については注意が必要・

D217 骨塩定量検査

(1) 骨塩定量検査は、骨粗鬆症の診断及びその経過観察を行った場合であって、以下のアからカのいずれかに該当する患者については4月に1回に限り、その他の患者については1年に1回限り算定する。

ア 骨粗鬆症の治療を開始した日から起算して1年以内の場合

イ 新たに骨折した場合

ウ 関連学会のガイドラインで示されている骨折危険因子が新規に増えた場合

エ ビスホスホネート薬治療の中断を検討する場合

オ グルココルチコイド、アロマトーゼ阻害薬、抗アンドロゲン薬、骨形成促進薬等、骨減少又は骨増加をきたす薬剤を投与する場合

カ 骨吸収、全身性炎症性疾患、長期不動、人工閉経等、骨減少又は骨増加をきたす疾患等を有する場合

(2) 「1」の注はDEXA法による腰椎撮影及び大腿骨撮影を同一日に行った場合にのみ算定できる。

(3) 「2」の注はREMS法(腰椎)は、REMS法(Radiofrequency Echographic Multi-specyrometry)による腰痛の骨塩定量検査を実施した場合に算定する。

(4) 「2」の注は、REMS法により腰椎及び大腿骨の骨塩定量検査を同一日に行った場合にのみ算定できる。

・医療安全: 感染対策の加算について(大江先生)

6 次回2026年6月の幹事・常任幹事会、総会、教育研修会(第82回教育研修会)

事務局/村松先生より報告

・日時: 2026年6月20日(土)14:30~18:00

・会場: AP東京八重洲通り

14:30~15:30 幹事・常任幹事会

15:30~15:50 総会

15:50~16:00 製品情報提供

16:00~18:00 第82回教育研修会

(18:00~20:00) 情報交換会

[演題1]

演者: 工藤 理史先生(昭和医科大学医学部 整形外科 科学講座 主任教授)

演題名：「高齢者の首下がりと腰曲がり：症例から学ぶ病態理解と治療戦略」

必須単位：[7] 脊椎・脊髄疾患

[SS] 脊椎脊髄病医（申請中）

座長：⇒審議事項1

[演題2]

演者：落合 信靖先生（千葉大学大学院 医学研究院
整形外科学 准教授）

演題名：「上肢疾患に対する体外衝撃波療法の現況と展望」

必須単位：[9] 肩甲帯・肩・肘疾患

[Re] 運動器リハビリテーション医

（申請中）

座長：⇒審議事項1

7 次々回2026年10月の常任幹事会

事務局より報告

・日時:2026年10月19日(月) 19:00~20:00

・形式: WEB(Zoom)開催

・議題: 新会長の選出

日整会代議員および補欠代議員、日整会理事立候補者・監事立候補者の確定

8 次々々回2026年12月の幹事・常任幹事会、教育研修会(第83回)

事務局/村松先生より報告

・日時:2026年12月19日(土)14:30~18:00

・会場: 旭化成ファーマ(株) 医薬東京支店 会議室

・演者：⇒審議事項2

【審議事項】

1 次回2026年6月 第82回教育研修会の座長 (報告事項6参照)

・演題1 座長：福田 健太郎先生（済生会横浜市東部
病院 整形外科部長）

・演題2 座長：西須 孝 先生（千葉こどもとおとな
の整形外科 院長）

→参加者全員の画面上リアクションによって承認

2 次々々回2026年12月 第83回教育研修会の演者 (報告事項8参照)

[演題1]

・演者：本間 康弘先生（筑波大学 医学医療系 整形
外科教授）

・演題名：「骨粗鬆症と股関節疾患（仮）」

[演題2]

・演者：寺本 篤史先生（札幌医科大学 医学部
整形外科学講座 教授）

・演題名：「足関節周囲疾患 or スポーツ関連
（仮）」

→参加者全員の画面上リアクションによって承認

3 次々々々回2027年3月の常任幹事会の日程

・日程候補日:2027年3月8(月)または15日(月)

19:00~20:00

・形式: WEB(Zoom)開催

→参加者全員に確認の上、画面上リアクションによ
って、15日開催で承認

4 研修委員長交代の件

・現委員長 村松 俊樹 先生(筑波学園病院)よりご退任
のご希望あり、次研修委員長として2026年6月より
原 慶宏先生(武蔵野赤十字病院 整形外科部長)を
推薦

→参加者全員の画面上リアクションによって承認

・村松先生：退任のご挨拶

・原先生：就任のご挨拶

5 新常任幹事の推薦

・候補者: 天神 彩乃先生(神奈川リハビリテーション病院
整形外科部長)

推薦者: 伊室 貴先生(厚木市立病院 整形外科主任部
長)

→参加者全員の画面上リアクションによって承認

6 新幹事の推薦

・なし

7 その他

事務局より報告

・常任幹事の出席状況が十分とは言えないため、過去
3年程度の出席実績について調査を行う予定

・常任幹事の要件等については今後の継続審議とする

以上

[文責：事務局 新井嘉容]

事務局から

今年の 6 月に 2 年毎の診療報酬改定が行われました。従来は平泉先生に 12 月に発行の會報に変更点や留意点につきご寄稿いただいております。本号ではみなさまにいち早くお伝えできるよう、平泉先生にご尽力いただきましたことに厚く御礼申し上げます。

さて、気象庁は 2007 年に一日の最高気温が 35℃を超えると「猛暑日」と決定しましたが、近年の地球温暖化に対応して今年の 4 月に予報用語として最高気温が 40℃を超える日を「酷暑日」と決定しました。

今年も暑い夏が予想されますが、この「酷暑日」の言葉聞く日が少なくなることを望むとともに、熱中症に注意していきたいものであります。

(文責：伊室 貴)

事務局からのお願い

勤務先や住所に変更が発生した際には、事務局へのご連絡をお願いいたします。

関東勤務医会では、正確な名簿管理やホームページの維持のためにも、みなさまのご協力をお願いいたします。



望星サイエンス株式会社

「健康で快適な人生」をめざして

ともに未来を創る力に



当社は1977年の創立以来、医療機器・医療用具・医薬品・試薬など、医療現場を支える幅広い製品を提供してまいりました。社会のニーズに応えるだけでなく、「現場が求めていることは何か」を常に考え、行動することを大切にしています。

知識と技術の向上を図ると共に社会に貢献する姿勢を持ち、企業としての存在意義を果たすべく、長期的な視点に立った事業展開を進めています。

医療とともに歩み、未来の“より良い社会”を創り出す一助となること。それが当社の使命であり、変わらぬ願いです。

望星サイエンス 株式会社

【本 社】

〒113-0033 東京都文京区本郷5丁目5番14号
TEL:03(3818)6531(代) FAX:03(3814)7720

【整形特販課】

〒243-0036 神奈川県厚木市長谷260番29号
TEL:046(250)4101(代) FAX:046(250)4104



<https://www.bousei.co.jp/>

第 82 回 日整会認定教育研修会

関東地区整形外科勤務医会では、下記の通り幹事会、総会および教育研修会を開催いたします。専門医以外の先生方もお誘いの上、ご参加下さい。

記

日 時：令和 8 年 6 月 20 日（土曜日）

会 場：AP 東京八重洲 11F（都合により階が変更になることがあります）

〒104-0031 東京都中央区京橋 1-10-7

TEL 03-6228-8109

幹事・常任幹事会：14:30～15:30

総会：15:30～15:50

教育情報提供：15:50～16:00 帝國製薬（株）製品情報室

教育研修会：16:00～18:00

【演題Ⅰ】

座長：済生会横浜市東部病院 整形外科部長 福田 健太郎先生

演題名：高齢者の首下がりと腰曲がり：症例から学ぶ病態理解と治療戦略

演者：昭和医科大学医学部整形外科学講座 主任教授

工藤 理史先生

必須分野番号：[7]、[SS]

【演題Ⅱ】

座長：千葉こどもとおとなの整形外科 院長 西須 孝先生

演題名：上肢疾患に対する体外衝撃波療法の現況と展望

演者：千葉大学大学院 医学研究院 整形外科学 准教授

落合 信靖先生

必須分野番号：[9]、[Re]

会場費：¥1000（参加者一律）

受講料：1 題 ¥1000（単位取得者のみ）

事前に JOINTS のアプリをダウンロード後、登録をお願いいたします。

当日の教育研修申請時には、2次元コード（QR コード）をご呈示ください。

懇親会：講演会終了後に同会場で情報交換会を用意しております

参加事前申込先：新井 嘉容 済生会川口総合病院 整形外科

〒332-8558 埼玉県川口市西川口 5-11-5

TEL 0570-08-1551

共 催：関東地区整形外科勤務医会
帝國製薬株式会社

関東地区整形外科勤務医会 入会申込書

令和 年 月 日
フリガナ _____
御氏名 _____
生年月日 昭和・平成 年 月 日
現住所 〒 _____

TEL _____
勤務先名称 _____
勤務先住所 〒 _____

TEL _____
メールアドレス _____
役職名 _____
出身大学 _____
卒業年次 昭和・平成・令和 年
出身教室 _____

入会申し込み送り先

〒332-8558 埼玉県川口市西川口 5-11-5

埼玉県済生会川口総合病院 整形外科

関東地区整形外科勤務医会事務局代表 新井 嘉容

TEL 0570-08-1551

FAX 048-256-5703

E-Mail kanto.orth@gmail.com

stryker

Insignia®

Femoral Hip Stem

インシグニア人工股関節ステム

継承された伝統、
新たなステージへ

実績を継承したデザイン

従来製品の特長を生かしながら、近年増加する筋温存型前方アプローチでの容易な操作性を考慮したデザイン

ダイレクトラテラルオフセット

ハイオフセットの選択により、脚長を維持しながらオフセットだけを調節可能

Tri-Stage™ Broach

骨形態の分析から生まれたブローチで、再現性の高いステム設置が可能



※本製品に関するお問い合わせは、弊社営業までお願いいたします。

医療機器承認/届出番号	販売名
30500162X002440000	Insignia Hip ステム
1391X10209000001	関節手術用器械類

Literature Number: HE09-019L
Copyright ©2024 Stryker

製造販売業者
日本ストライカー株式会社
112-0004 東京都文京区後楽2-6-1 飯田橋ファーストタワー
P 03 6894 0000

www.stryker.com/jp

かけがえない命の手助け…



より良き健康と医療を目指して

サンメディックス株式会社

本社 〒104-6136

東京都中央区晴海1-8-11 晴海トリトンスクエア棟36階
TEL 03-5144-0855(代) FAX 03-5144-0850

□東京第一支店	〒179-0075	東京都練馬区高松6-35-15	TEL: 03-5923-6235(代)	FAX: 03-5393-3057	
□東京第二支店	〒130-0014	東京都墨田区亀沢4-17-12	TEL: 03-5619-4551(代)	FAX: 03-6859-0016	
□東京第三支店	〒168-0063	東京都杉並区和泉1-22-19	TEL: 03-6680-0460(代)	FAX: 03-6680-0538	
□多摩支店	〒187-0004	東京都小平市天神町1-9-27	TEL: 042-348-5011(代)	FAX: 042-348-5015	
□千葉支店	〒261-0023	千葉県千葉市美浜区中瀬1-3	TEL: 043-296-1063(代)	FAX: 043-296-1067	
□川崎支店	〒216-0005	神奈川県川崎市宮前区土橋1-21-5	TEL: 044-870-6377(代)	FAX: 044-866-3813	
□横浜支店	〒240-0005	神奈川県横浜市保土ヶ谷区神戸町134	TEL: 045-348-7260(代)	FAX: 045-348-7261	
□相模原支店	〒252-0334	神奈川県相模原市南区若松1-1-3	TEL: 042-767-3771(代)	FAX: 042-767-3773	
□厚木支店	〒243-0016	神奈川県厚木市田村町10-12	TEL: 046-296-2822(代)	FAX: 046-222-1563	
□宇都宮支店	〒320-0074	栃木県宇都宮市細谷町388-1	TEL: 028-616-1580(代)	FAX: 028-623-7350	
□とちぎ支店	〒329-4404	栃木県栃木市大平町富田石川5100番3	TEL: 0282-45-3701(代)	FAX: 0282-44-0891	
□首都圏検査センター	〒144-0042	東京都大田区羽田増町11-1 羽田クロノゲート内	TEL: 03-5735-7111(代)	FAX: 03-3743-8811	
□水戸営業所	029-305-6125(代)	□埼玉営業所	048-640-6621(代)	□長野営業所	026-229-8030(代)
□筑波営業所	029-850-5185(代)	□埼玉西営業所	0493-21-7310(代)	□松本営業所	0263-24-1125(代)
□前橋営業所	027-280-4433(代)	□山梨営業所	055-242-0301(代)	□名古屋営業所	052-218-2735(代)

URL : <https://www.sunmedix.co.jp>





Persona® Knee System

No Compromise

様々な患者さんに適合するインプラントを目指して

Persona®人工膝関節システムは、術後の機能低下をより改善させるために、生体膝に基づいたアナトミカル形状にデザインされています。

- ・AP長 2mm間隔の大腿骨コンポーネント、厚み 1mm間隔のサーフェイス
- ・スタンダード及びナローサイズを含めた 21種類の大腿骨コンポーネント
- ・高い骨被覆率のための内外側非対称胫骨コンポーネント



販売名: Persona PS セメントシステム / 承認番号: 2250082x00384000 / 高度管理医療機器 / 全人工膝関節 / 人工膝関節 KF-2, KF-5, KF-11
販売名: Persona CR セメントシステム / 承認番号: 2250082x00385000 / 高度管理医療機器 / 全人工膝関節 / 人工膝関節 KF-2, KF-11
販売名: Persona Vivack-E CR サーフェイス / 承認番号: 2260082x00189000 / 高度管理医療機器 / 人工膝関節胫骨コンポーネント / 人工膝関節 KF-12

【禁忌・禁止】、【使用目的又は効果】、【使用上の注意】、及び不具合・有害事象等の情報については、本製品の添付文書をご参照いただくか、弊社営業担当者までご連絡ください。製品のさらなる最新の情報は、<https://www.zimmerbiomet.com/ja/>にてご確認ください。



ZIMMER BIOMET

ジンマー バイオメット <https://www.zimmerbiomet.com/ja/>

〒108-0073 東京都港区三田三丁目5番19号 住友不動産東京三田ガーデンタワー 12 階
Tel. 03-4331-8600 (代)

Teikoku



無香性の フェルビナク含有貼付剤(パップ剤・テープ剤)

経皮鎮痛消炎パップ剤・テープ剤(無香性)

薬価基準収載

セルタッチ[®]パップ⁷⁰・テープ⁷⁰

Seltouch Paps 70/140・Seltouch Tapes 70 日本薬局方 フェルビナクパップ・フェルビナクテープ

2. 禁忌(次の患者には投与しないこと)

- 2.1 本剤又は他のフェルビナク製剤に対して過敏症の既往歴のある患者
- 2.2 アスピリン喘息(非ステロイド性消炎鎮痛剤等による喘息発作の誘発)又はその既往歴のある患者[喘息発作を誘発するおそれがある。][9.1.1 参照]

4. 効能又は効果

下記疾患並びに症状の鎮痛・消炎
変形性関節症、肩関節周囲炎、腱・腱鞘炎、腱周囲炎、上腕骨上顆炎(テニス肘等)、筋肉痛、外傷後の腫脹・疼痛

6. 用法及び用量

1日2回患部に貼付する。

8. 重要な基本的注意

- 8.1 消炎鎮痛剤による治療は原因療法ではなく対症療法であることに留意すること。
- 8.2 慢性疾患(変形性関節症等)に対し本剤を用いる場合には薬物療法以外の療法も考慮すること。

9. 特定の背景を有する患者に関する注意

- 9.1 合併症・既往歴等のある患者
 - 9.1.1 気管支喘息のある患者(アスピリン喘息又はその既往歴のある患者を除く)
喘息発作を誘発するおそれがある。[2. 2 参照]
 - 9.1.2 皮膚感染症のある患者
感染を伴う炎症に対して用いる場合には適切な抗菌剤又は抗真菌剤を併用し、観察を十分行い慎重に使用すること。皮膚の感染症を不顕性化するおそれがある。

9.5 妊婦

妊婦又は妊娠している可能性のある女性に対しては治療上の有益性が危険性を上回ると判断される場合にのみ使用すること。シクロオキシゲナーゼ阻害剤(経口剤、坐剤)を妊婦に使用し、胎児の腎機能障害及び尿量減少、それに伴う羊水過少症が起きたとの報告がある。シクロオキシゲナーゼ阻害剤を妊娠中期以降の妊婦に使用し、胎児の動脈管収縮が起きたとの報告がある。

9.7 小児等

小児等を対象とした臨床試験は実施していない。

11. 副作用

次の副作用があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には使用を中止するなど適切な処置を行うこと。

11.1 重大な副作用

- 11.1.1 ショック、アナフィラキシー(いずれも頻度不明)
ショック、アナフィラキシー(蕁麻疹、血管浮腫、呼吸困難等)があらわれることがある。

11.2 その他の副作用

セルタッチパップ70・140

	副作用の頻度		
	0.1～1%未満	0.1%未満	頻度不明
皮膚	皮膚炎(発疹、湿疹を含む)、 そう痒、発赤、接触皮膚炎	刺激感	水疱

セルタッチテープ70

	頻度不明
皮膚	皮膚炎(発疹、湿疹を含む)、そう痒、発赤、接触皮膚炎、刺激感、水疱

製造販売元

帝國製薬株式会社
香川県東かがわ市三本松567番地

〈製品情報お問い合わせ先〉

医薬営業部 製品情報室

TEL: 0120-189-567

受付時間/月～金 9:00～17:30(祝日、当社休日を除く)

https://www.teikoku.co.jp/med_database/

詳細は電子添文をご参照ください。

禁忌を含む注意事項等情報の改訂に十分
ご注意ください。

2025.7 作成